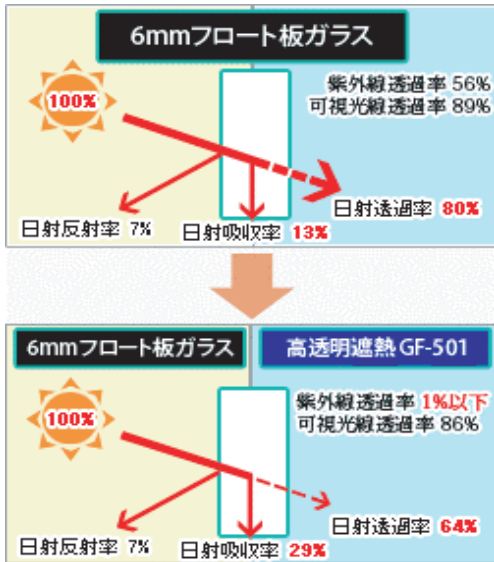


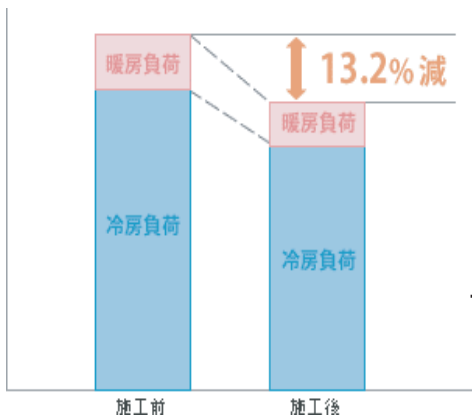
# 高透明遮熱フィルム



太陽の直射日光が室内に入り込むと、その熱で室内温度は上昇します。その室内への日射（赤外線など）を遮ったり、やわらげることで、エアコンの省エネ効果につながります。ここで紹介するガラスフィルム「GF-501（GF-301）」は、外光による室内の明るさを保ちながら、優れた遮熱性を発揮する多機能商品です。この高透明遮熱フィルムは、特に以下の点において、住まいや店舗・オフィスでの省エネに貢献します。

- 熱線遮蔽  
 エアコンの省エネ効果をアップ  
 ・太陽からの熱を帯びた赤外線を遮蔽して室内の温度上昇を抑えます。  
 ・暖房の熱を屋外へ逃げにくくします。
- 透明遮熱  
 室内の明るさをそのままに遮熱  
 ・高い透明性とすぐれた断熱性を兼ね備え、暖房効果を高めます。

実際にガラスフィルム「GF-501（GF-301）」を施工した際の省エネ効果を試算してみました。



施工地区 → 東京都品川区（地区で日射量は変わります）  
 ガラス面の状況 → 北東：8.0㎡ 南東：12.0㎡ 南西：4.0㎡  
 ガラスの種類 → 6mm厚透明板ガラス  
 温度設定・期間 → 冷房：4/1～10/31⇒25℃ 暖房：11/1～3/31⇒22℃  
 エアコン運転時間 → 8:00～20:00

未施工板ガラスに比べ



■負荷熱量削減効果：6,195MJ/年 ■省エネ率：13.2%/年

⇒ 年間にして、電気料金：10,872円、CO2削減量：217kgの削減

※空調エネルギー効率：2,450kcal/kwh、電気料金：18円/kwh、CO2排出量：0.36kg/kwh AEF基準として

注：上記結果は窓部分に関する計算値であり、壁、その他の輻射熱等は一切考慮しておりません。そのため、実際の効果と異なる場合がございますので、ご参考としてご利用願います。

上記のように、遮熱フィルムを張ることにより、節電・エアコンによるCO2排出削減にも大きく貢献します。